

平成 29 年 4 月 5 日

報道機関 各位

明治から昭和戦前期にかけての新聞・雑誌、錦絵等を中心とした
資料を収集・所蔵し、広く公開している「明治新聞雑誌文庫」

世界最大級のコレクションを活かした
オリジナルデザイン雑貨シリーズを
東京大学コミュニケーションセンターにて発売開始

売上の一部は、同文庫所蔵資料の保存・修復に活用

国立大学法人東京大学（総長：五神真、本部：東京都文京区）は、大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター明治新聞雑誌文庫（以下、「明治文庫」）が所蔵するコレクションをデザインに活かし、明治文庫シリーズとして、「レターセット」「超撥水風呂敷」「インテリアうちわ」の3点を平成29年4月7日より発売開始いたします。キャンパス来訪の記念品として、また大切な方への贈答品として、日本近代の時代・社会の雰囲気伝えるラインナップをぜひご利用ください。

明治文庫は、昭和2年に東京帝国大学法学部附属施設として開設。「新聞保存」を掲げた本邦初の施設です。明治期から昭和戦前期にかけての新聞・雑誌、錦絵等関係資料を所蔵・公開しており、国内外における多方面の研究活動や歴史編纂事業等に役立てられています。明治・大正期に国内で刊行された新聞・雑誌コレクションとしては世界最大級とされ、そのコレクションは今も増え続けています。この雑貨シリーズの売上の一部は、所蔵資料の保存・修復等、明治文庫の維持発展のために活用いたします。

<明治文庫シリーズ商品ラインナップ>

- ・ 蛇腹便箋レターセット × 明治新聞雑誌文庫（新聞等の題字）
- ・ 超撥水風呂敷 × 明治新聞雑誌文庫（新聞等の題字）
- ・ インテリアうちわ × 明治新聞雑誌文庫（錦絵、新聞記事）

<デザイン（明治新聞雑誌文庫）について>

●新聞等の題字（蛇腹便箋レターセット、超撥水風呂敷に採用）

ジャーナリスト宮武外骨（後の明治文庫初代事務主任）が発行し人気となった「滑稽新聞」、その外骨が収集に尽力した貴重紙、西園寺公望が社主、中江兆民が主筆の「東洋自由新聞」、また「官板海外新聞」「日新眞事誌」「朝野新聞」「The Japan punch」などは当時を知る上で重要な資料です。これら明治文庫の代表的な新聞や貴重な新聞等の題字を集め、活字の大平原のようなレターセット、風呂敷を作りました。

●錦絵、新聞記事（インテリアうちわに採用）

錦絵は明治憲法の発布（明治22年2月11日）を祝う上野での催しを描いた、東洲勝月の作品「憲法発布上野賑」。欽定憲法に公に異を唱えるのは難しかったし、そもそも多くの日本人は、この絵と同様に憲法を歓迎していました。しかし民権派は、憲法の運用をめぐる議論を直ちに開始しました。新聞記事は、立憲改進黨の論客、尾崎行雄の書簡であり、朝野（ちょうや）新聞が明治22年2月27日から3月5日にわたって連載した第一回のもので、過去の新聞や雑誌を読むと、歴史が決まった政策の連続ではなく、さまざまな意見や選択肢に溢れていることを実感できます。

<製品の特長>

●蛇腹便箋レターセット

便箋の折り目ごとにミシン目が入っていて、書き終わったところで切り取ることができます。短い一筆箋にも、長文の手紙にも、お便りの長さに合わせてご利用いただけます。伝統的な巻紙の発想から生まれた、新しい便箋。封筒と便箋がセットになったレターセットです。カバーは、風呂敷と同じデザインを用い、便箋には明治文庫所蔵雑誌「团团珍聞」1418号（明治36年4月4日）の目次の飾り罫と、かつて資料受入れの際に使用していた蔵書印の印影を配した東京大学コミュニケーションセンターオリジナルデザインとなっています。

●超撥水風呂敷

風呂敷が風呂敷と呼ばれるようになったのは、江戸時代のことと言われています。風呂に入る際、身の回り品を包んだのがその由来。入浴中は濡れては困る着替えを包み、入浴後は濡れた手ぬぐいやタオルを包む、そんな風呂敷に撥水性能が加わりました。その名にふさわしい進化を遂げた、濡れない風呂敷。正統なる新しい風呂敷です。さらに本製品は、明治文庫所蔵の新聞等の題字や蔵書印を配した東京大学コミュニケーションセンターオリジナルデザインです。

●インテリアうちわ（自立するうちわ）

使わないときは、机の空いたスペースに自立し、ゆらゆらと揺れて涼を感じさせてくれるうちわです。持ち手に程よい重さがあるので、扇ぎやすく手になじみます。しなりがあ

るので風量も充分。汗や水濡れにも強く、明治文庫所蔵の錦絵及び新聞記事をレイアウトした東京大学コミュニケーションセンターオリジナルデザインなのでインテリアとして飾ってお楽しみいただけます。

●明治文庫の沿革

明治文庫は、昭和2年2月に東京帝国大学法学部に開設、3月より農学部の旧第一高等学校3階の1室を借りて業務を開始、昭和4年12月には、新設された史料編纂所地階に移転しました。「大正デモクラシー」の思想的指導者で東京帝国大学法学部教授吉野作造や、尾佐竹猛、石井研堂、宮武外骨らが設立した「明治文化研究会」は、大正12年の関東大震災による明治期の新聞雑誌の散逸状況を憂え、明治文化及び明治期活字資料の発掘を行うとともに、新聞雑誌保存館の必要を唱えていました。

この構想に賛同した宮武外骨の友人で博報堂の創業者、瀬木博尚氏が15万円の寄付金を東京帝国大学に提供、東京帝国大学法学部では吉野作造、中田薫、穂積重遠諸教授の協力の下、大正15年10月、「明治新聞雑誌文庫」が法学部に付置されることが決定、館長には穂積重遠教授、事務主任に宮武外骨を迎えました。昭和51年度、法学部附属施設として正規の予算が認められ、昭和52年10月には、明治新聞雑誌文庫創立50周年記念「明治を読む-明治の新聞雑誌展」を開催。また、同年、国際交流基金賞を受賞しています。昭和56年には「近代立法過程研究会」を前身とする「法学部附属近代日本法政史料センター（原資料部）」とともに「法学部附属近代日本法政史料センター（明治新聞雑誌文庫）」に改組、平成16年度より「大学院法学政治学研究科附属」施設となりました。

<製品概要>

●商品名：蛇腹便箋レターセット 明治新聞雑誌文庫

オリジナルデザイン便箋（雑誌飾り罫、蔵書印印影）、
カバー（新聞等題字柄）付き

- ・数量：便箋（オリジナルデザイン）90枚 封筒（無地）10枚
- ・サイズ：21.1×9.1cm
- ・発売日：平成29年4月7日（金）
- ・販売価格：980円（税込）

●商品名：超撥水風呂敷 明治新聞雑誌文庫

オリジナルデザイン（新聞等題字柄、蔵書印印影）

- ・仕様：平織、撥水加工
- ・サイズ：70×70cm
- ・専用台紙、専用タグ付き
- ・発売日：平成29年4月7日（金）
- ・販売価格：3,500円（税込）

●商品名：インテリアうちわ 明治新聞雑誌文庫
オリジナルデザイン（錦絵、新聞記事）

- 仕様：持ち手 亜鉛合金、扇面 樹脂
- サイズ：扇面 幅 161×厚さ 23×高さ 230 mm
- 専用箱付き
- 発売日：平成 29 年 4 月 7 日（金）
- 販売価格：2,700 円（税込）

<購入方法>

①店舗での購入

- 東京大学コミュニケーションセンター（UTCC）
東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学本郷キャンパス内 赤門北隣
営業時間：10:00～18:00 定休日：日曜、水曜、祝日
- IMT ブティック
東京都千代田区丸の内 2-7-2 K I T T E 3 階インターメディアテク内
営業時間：11:00～18:00（金土は 20:00 まで）※最終入館は 17:30（金土は 19:30 まで）
定休日：月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）および年末年始、その他館が定める日
<http://www.intermediatheque.jp/ja/boutique>

②オンラインショップでの購入

- UTCC オンラインストア
<http://shop.utcc.pr.u-tokyo.ac.jp/>

超撥水風呂敷



インテリアうちわ



平成 29 年 4 月 5 日

報道機関 各位

数学で錯視は制御できる！

アルゴリズムを用いて「浮遊錯視」化した画像を活用し
オリジナルデザイン雑貨を開発

東京大学コミュニケーションセンターにて発売開始
図書カードは入学式（4 月 12 日）会場での当日限定販売！（※）

国立大学法人東京大学（総長：五神真、本部：東京都文京区）は、大学院数理科学研究科新井仁之教授及び新井しのぶ氏が開発した浮遊錯視生成アルゴリズムを用い、本学に縁がある画像を浮遊錯視化し、それをデザインに活かしたオリジナル雑貨を「浮遊錯視シリーズ」として平成 29 年 4 月 7 日より発売開始いたします。シリーズ第一弾は、ハンカチやポケットチーフ、液晶クリーナー等さまざまなシーンで使える「多目的クロス」および入学式限定販売の「図書カード」の 2 点です。 ※＜購入方法＞をご確認ください。

●浮遊錯視生成プログラム

旧来、静止画なのに動いて見える「錯視」は、錯視の研究者やデザイナーが特殊なパターンを見出して職人芸的に作成されてきました。しかし、新井教授及び新井しのぶ氏は独自に開発した先端的数学を使って、任意の画像を浮遊錯視化することができる「浮遊錯視生成アルゴリズム」を発明（特許取得済）。これは脳内の視知覚に関する情報処理の数理モデルを作成し、コンピュータ内の視知覚に関する神経細胞に相当するものを制御して、コンピュータに人が錯覚を起こすような画像を作らせる、というものであり、錯視の古いタイプの作り方とは一線を画した世界初の新しい方法です。あなたの神経細胞が人工的に制御される感覚をぜひ体感ください。

●オリジナルデザイン

浮遊錯視シリーズのデザインには、博物館デザインを専門とする本学総合研究博物館インターメディアテク寄付研究部門 関岡裕之特任准教授が参加。関岡特任准教授は、学術標本のもつ学術的・歴史的・審美的価値にデザインを施すことで「価値」という抽象概念に対し、さまざまな角度から体感できるかたちにすることを研究課題としています。本シリーズのデザインには、本学の学術標本として「JPタワー学術文化総合ミュージアム『イ

ンターメディアテク』(東京都千代田区)」内に所蔵・展示されている数理模型や、「the University of Tokyo」の文字列が採用され、歴史と先端を兼ね備え、自由に開かれた東京大学を感じることができるものとなりました。

●数理模型

独マルチン・シリリング社製幾何関数実体模型コレクション

19世紀末から20世紀初頭／石膏(東京帝国大学理学部数学科旧蔵、東京大学数理科学研究科所蔵模型より複製)／東京大学総合研究博物館研究部所蔵

模型はそれぞれ、代数曲面とその特異点の構造を扱った代数幾何学に関するもの、定曲率曲面、極小曲面などを扱った微分幾何学に関するもの、楕円関数など複素関数論に関するものに分けられます。これらは、いわゆる概念模型ではなく、数値計算に基づく精密なものです。複雑な曲面のモデル化は容易ではありませんが、それらが一定の精度のもとに実現されている点でも貴重です。本学数理科学研究科に収蔵されているオリジナル模型は、中川銓吉教授により20世紀初頭に輸入され、当時は、理学部数学教室の授業にも用いられていました。昭和7年にマルチン・シリリング社は需要の減少から模型制作を中止しています。

●インターメディアテク

日本郵便株式会社と東京大学総合研究博物館が協働で運営をおこなう公共貢献施設。施設の位置する旧東京中央郵便局舎は、昭和モダニズムを代表する歴史建築として知られる5階層のビルで、その2・3階部をミュージアム・スペースとして改装し、誕生したのが「インターメディアテク(IMT)」です。この呼び名は、各種の表現メディアを架橋することで新しい文化の創造につなげる「間メディア実験館」に由来します。その活動の舞台となるのは、東京大学が明治10年の開学以来蓄積してきた学術標本や研究資料など、「学術文化財」と呼ばれるものの常設展示です。歴史的な遺産を、現代の都市空間のなかで再生させるデザイン技術は、インターメディアテク展示の見所のひとつです。特別展示やイベントでは、大学における最先端科学の成果や各種表現メディアにおけるユニークな創造を、常設展示の世界観と融合させながら、随時公開します。

この施設では、大学の主導する教育研究活動の一環として、これまでにない複合教育プログラムを実践するとともに、教育研究の成果を広く伝えるための、オリジナルグッズの開発販売もあわせておこないます。

<製品概要>

●商品名：浮遊錯視クロス 数理模型／浮遊錯視クロス UTokyo

- ・ デザイン：2種(数理模型柄、the University of Tokyo 文字列)
- ・ サイズ：320×320 mm
- ・ 生地：マイクロファイバー(ポリエステル、ナイロン)

- 発売日：平成 29 年 4 月 7 日（金）
- 販売価格：1,000 円（税込）

●商品名：浮遊錯視図書カード（入学式記念専用台紙付き）

- デザイン：1 種（数理模型柄）
- 発売日：平成 29 年 4 月 12 日（水）限定
- 販売価格：1,000 円（税込）

<購入方法>

※「図書カード」は本学入学式（平成 29 年 4 月 12 日）会場（日本武道館）での**式典参列者限定販売**となります。一般の方向けには販売いたしません（下記①、②では購入できません）。

①店舗での購入

- 東京大学コミュニケーションセンター（UTCC）
東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学本郷キャンパス内 赤門北隣
営業時間：10:00～18:00 定休日：日曜、水曜、祝日
- IMT ブティック
東京都千代田区丸の内 2-7-2 K I T T E 3 階インターメディアテク内
営業時間：11:00～18:00（金土は 20:00 まで）※最終入館は 17:30（金土は 19:30 まで）
定休日：月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）および年末年始、その他館が定める日
<http://www.intermediatheque.jp/ja/boutique>

②オンラインショップでの購入

- UTCC オンラインストア
<http://shop.utcc.pr.u-tokyo.ac.jp/>

<商品外観等>

浮遊錯視クロス 数理模型／浮遊錯視クロス UTokyo



浮遊錯視図書カード（入学式記念専用台紙付き）※本学入学式参列者限定販売



平成 29 年 4 月 5 日

報道機関 各位

日常的に、そして気軽にアミノ酸サプリメントを摂取したい方へ
ようかん 1 本にアミノ酸 1,000mg 配合

東京大学コミュニケーションセンターの定番商品
アミノ酸サプリメントシリーズから
抹茶味の「体力式®アミノ酸ようかんバータイプ」登場

国立大学法人東京大学（総長：五神真、本部：東京都文京区）は、アミノ酸摂取による人への栄養効果の研究を礎に開発した人気のアミノ酸サプリメントシリーズの新商品として「体力式®アミノ酸ようかんバータイプ」を平成 29 年 4 月 10 日より発売開始いたします。これまで体力式®アミノ酸シリーズを愛用いただいている方だけでなく、日常的に、気軽に、そしてスポーツシーンでも、アミノ酸サプリメントを摂取したい方にもうれしい商品です。

●こんな人へ、こんなときにおすすめです！

- ・「いつもよりちょっとがんばろう！」という自分へ
- ・「体力式®アミノ酸顆粒」の愛用者の方に
- ・最近体力が気になる方に
- ・急な仕事や残業のときに
- ・試験勉強の集中力に
- ・スポーツやトレーニング後のアミノ酸補給に
- ・「体力式®アミノ酸顆粒」が苦手な方に

●製品の特長

- ・配合されているアミノ酸

人気の「体力式®アミノ酸顆粒」に多く含まれている必須アミノ酸であるバリン、ロイシン、イソロイシンなどにアスパラギン酸をプラスして、合計 1,000mg 含まれています。
1 本当たりのカロリーは約 120kcal です。

- 抹茶味の魅力

世界に広がる日本食ブームの中では抹茶も広く注目されています。抹茶にはカテキンなどのポリフェノール類やテアニンなどが含まれており、それらの健康素材としての可能性について幅広く研究や実験が進められています。

- ようかん（バータイプ）の魅力

顆粒タイプのサプリメントは飲むために水分が必要ですが、ようかんはいつでも手軽に食べることができます。またバータイプなので、ランニング、ウォーキング、登山、ゴルフ等スポーツ時のアミノ酸とエネルギー補給に、また日常生活における補食としても便利です。

●アミノ酸サプリメントシリーズ開発までの歴史

東京大学では、平成4年よりアミノ酸摂取による人への栄養効果の研究を行ってきました。その成果のひとつとして競走馬の実験が挙げられます。平成8年、アミノ酸を混ぜた飼料で繁殖・育成・調教し、アミノスタローンと名づけられた馬が、東京シティ競馬で6勝したのです。血統が全てと言われている競走馬の世界で、非エリートの「東大出の馬」が大旋風を巻き起こしました。こうした数々の研究は、アミノ酸サプリメントの開発の礎となりました。その後、スポーツ選手への研究が進み、平成12年シドニーオリンピックのころからスポーツ選手もアミノ酸を摂取するようになり、平成16年のアテネにおいてアミノ酸の早期疲労回復により効果的なトレーニングができるようになったことから多くのメダリストの誕生をサポートしたということで、一般の人にもアミノ酸の効果が認識されるようになりました。

これらアスリートへのアミノ酸栄養研究をさらに一般の方への栄養研究へと発展させ開発された商品が東京大学コミュニケーションセンター（UTCC）のアミノ酸サプリメントシリーズです。第一弾として平成18年より「体力式®」「乾杯式®」の顆粒2商品を販売し「体感できるサプリメント」として評価していただき、第2弾として平成26年7月から販売した「体力式®」アミノ酸ゼリー・リンゴ味も美味しいと好評です。さらに昨年、第3弾として体力式®アミノ酸サプリメントを日常的に美味しく摂りたいという方のためにキャンディタイプを発売しました。

●UTCC 人気 No.1 アミノ酸サプリメントシリーズ・顆粒タイプ

本学のブランドグッズを取り扱う UTCC では、アミノ酸サプリメントシリーズの顆粒タイプ「体力式®」「乾杯式®」が長年にわたり人気 No.1 です。人気の理由を平成27年春に実施した顆粒タイプの購入経験者100名以上のアンケートから調べたところ、約8割の人が体力回復(*)効果を期待して「体力式®」顆粒タイプを購入しており、3人に2人が体力回復(*)を体感したと回答しています。そして9割を超える方がこの商品を継続して購入したいとの意向を示していました。また味については約6割の方から飲みやすいとコメントいただきました。こうした UTCC アミノ酸サプリメントに対するみなさまの高い評価を受けて、このたびようかんタイプの発売を開始するものです。

*本文中で体力回復と記載していますが、実際のアンケートでは疲労回復という文言でした。薬事法に抵触する懸念があるために体力回復と記載しています。

<製品概要>

●商品名：体力式®アミノ酸ようかんバータイプ

- ・品名：和菓子
- ・内容量：50g×3本
- ・発売日：平成29年4月10日（月）
- ・販売価格：1袋（3本入り）648円（税込）

<UTCC アミノ酸サプリメントシリーズ 関連商品>

●体力式®アミノ酸顆粒

カラダの基本となる筋肉に大切な分岐鎖アミノ酸（BCAA）等と健康維持のために欠かすことができないグルタミン、アルギニンとをバランスよく配合した顆粒タイプのサプリメント。

*アミノ酸3,000mg配合。ライム風味 14パッケージ入り 2,270円（税込）

●乾杯式®アミノ酸顆粒

日常生活において夜のお付き合いのシーンが多い方、健康を気づかう方に大切なアミノ酸（アラニン、グルタミン）をバランスよく配合した顆粒タイプのサプリメント。

*アミノ酸2,500mg配合。プラム風味 14パッケージ入り 1,600円（税込）

●体力式®アミノ酸ゼリー

アミノ酸を美味しく摂るためにはどうすればよいか？ゼリーが好ましいと考えました。理由は、エネルギーと水分と一緒に摂ることができ、アミノ酸の吸収も速やかだから。忙しい朝や食欲不振の時、運動中にもオススメです。

*アミノ酸900mg エネルギー100kcal ビタミン10種 リンゴ味果汁10%
1個100mg 160円（税込）

●体力式®アミノ酸キャンディ

スイーツの定番となりつつある抹茶を採用。少し疲れたなと感じてリラックスしたい時や集中したい時、また運動時などにも手軽に携帯してアミノ酸を補給できます。

*1粒にアミノ酸200mg ビタミン10種 抹茶味
1袋（57g） 500円（税込）

<購入方法>

①店舗での購入

- ・東京大学コミュニケーションセンター（UTCC）

東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス内 赤門北隣

営業時間：10:00～18:00 定休日：日曜、水曜、祝日

- IMT ブティック

東京都千代田区丸の内 2-7-2 KITTE3 階インターメディアテク内

営業時間：11:00～18:00（金土は 20:00 まで）※最終入館は 17:30（金土は 19:30 まで）

定休日：月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）および年末年始、その他館が定める日

<http://www.intermediatheque.jp/ja/boutique>

②オンラインショップでの購入

- UTCC オンラインストア

<http://shop.utcc.pr.u-tokyo.ac.jp/>

<商品外観等>

体力式®アミノ酸ようかんバータイプ

